

第 43 回大阪府新型コロナウイルス対策本部会議 議事概要

- と き：令和 3 年 4 月 1 日（木曜日）19 時 20 分から 20 時 00 分まで
- ところ：大阪府新別館南館 8 階 大研修室
- 出席者：吉村知事・田中副知事・山野副知事・山口副知事・危機管理監・政策企画部長・報道監・総務部長・財務部長・福祉部長・健康医療部長・ワクチン接種推進監・商工労働部長・教育長・府警本部警備部長・大阪市健康局首席医務監・スマートシティ戦略部スマートシティ推進監

【会議資料】

会議次第

- 資料 1－1 現在の感染状況について
- 資料 1－2 現在の療養状況について
- 資料 1－3 療養者数のシミュレーションについて
- 資料 1－4 ガイドライン遵守徹底のための見回り調査(案)について
- 資料 2－1 まん延防止等重点措置を実施すべき区域における要請
- 資料 2－2 専門家のご意見
- 資料 2－3 今後の教育活動について
- 資料 3－1 大阪府における新型コロナウイルス感染症変異株への対応
- 資料 3－2 4 月以降の高齢者施設等の従事者への定期 P C R 検査について

【知事】

- ・皆様お疲れ様です。
- ・先ほど、国において、まん延防止等重点措置を大阪に適用するということが決定をされました。
- ・今の大阪の感染状況についての分析を昨日行いましたが、特に大阪市内において、若者を中心にこれまでにない感染の拡大で、ここ 1 週間を見ても急速な感染拡大の状況にあります。
- ・今後も更にこの感染拡大傾向は続くと予想されます。
- ・その中で、まん延防止等重点措置の適用を国に要請し、決定をされました。
- ・より一段強い感染拡大防止策を実行していく必要があると思います。
- ・内容について、国においても基本的対処方針の変更を決定、また、この間、国と調整してきたこともありますので、本日決定していきたい。
- ・感染拡大については、今後しばらく続くことが予測されますが、何とかこれを乗り越えていきたいと思っていますのでよろしくお願いします。

※資料 1－1 に基づいて、健康医療部長より説明。

※資料 1－2 に基づいて、健康医療部長より説明。

※資料 1－3 に基づいて、健康医療部長より説明。

※資料 1－4 に基づいて、危機管理監より説明。

※資料2-1に基づいて、危機管理監より説明。

※資料2-2に基づいて、健康医療部長より説明。

※資料2-3に基づいて、教育長より説明。

【田中副知事】

- ・見回り調査について、調査項目の四つのうち三つは設備が設置されているかどうかを確認するという
ことで非常にわかりやすく、昼間でも可能と思う。
- ・それに対して、マスク会食の徹底の確認は難しい部分があると思うんですけども、どういう方法で
確認・啓発しているのか教えていただきたい。

【危機管理監】

- ・三つは物理的に設置されているかの確認ですが、マスク会食の徹底は、店の方に来店者の皆さんにご指
導くださいということになりますので、まずはホームページなどで府民向けにマスク会食のやり方、知
事が情報発信されている方法ですが、そういうのを設けて、店舗の方に対してこのように働きかけてく
ださいというお願いをすることになると思っています。

【知事】

- ・見回り隊を編成して、大阪市内の全ての飲食店に対しての現地調査をしていきたいと思えます。
- ・非常に店舗数も多いですから簡単にはいかないわけですけども、大阪府・市共同で大阪市内全ての飲食
店に現地調査をして、感染対策の徹底を実行したいと思えます。
- ・その中で、アクリル板の設置、CO₂センサーの設置、これは義務化できないかと指摘してきたとこ
ろですけども、アクリル板の設置は政令で読み込むことができるということですし、CO₂センサーも
第24条9項の換気の徹底ということで飲食店にお願いをしていきたいと思えます。
- ・それらに対する補助金による支援策、政令上のお願いですが、店側にお願いするわけですから、支援策
の構築について、今すでに検討してくれていますけど、急いでもらいたいと思えます。
- ・5日から適用になりますので、それまでに内容を発表できるように準備をお願いします。

【商工労働部長】

- ・鋭意進めておりますのでなるべく早く出せるように努力してきたいと思えます。

【知事】

- ・大阪市内の飲食店はどのぐらいか分かりますか。感染防止宣言ステッカーの登録数など大枠でもいい
ですが。

【商工労働部長】

- ・市内では5万から6万店あります。

【知事】

- ・感染防止宣言ステッカーの登録数が6万店で、大阪コロナ追跡システムの登録数が5万店だと思いますが、大阪市内でどのくらいあるかわかりますか。

【事務局】

- ・大阪市内で4万店ございます。

【知事】

- ・4万店については、マスク会食の仕方やマニュアルにある設備を設置してくださいという呼びかけは一斉に配信できるということでしょうか。

【危機管理監】

- ・メールによる働きかけ、また、ホームページで見てくださいという形での呼びかけになると思っております。

【事務局】

- ・補足しますと、これまでもメールにてマスク会食の周知等は行っております。
- ・併せて、今回は1店舗1店舗に、マスク会食の徹底をよろしく願いますとの声かけを行っていきたいと思っております。

【知事】

- ・さきほどの話だと大阪市内の店舗はだいたい飲食店6万店ということですか。

【商工労働部長】

- ・いわゆる飲食業の許可を取っている店舗数はそうです。

【知事】

- ・飲食店は4万店から6万店の間ということなので、それだけでもものすごい数の店舗数になります。
- ・そして、4月5日から5月5日までの1ヶ月間なので、松井市長とも相談して実施するという判断をしたので、府市連携して実施したいと思っております。
- ・体制の構築をよろしく願います。
- ・この点について何かありますか。

【山口副知事】

- ・知事からご指摘があったように、件数が非常に多いということと、期間が限られているということで、速やかに体制を構築するということが必要なので、大阪市としっかりと調整をさせていただいてスタートできるようにしたいと思います。

【知事】

- ・まん延防止等重点措置を適用するという中で、僕が発信してきたのは、なぜまん延防止等重点措置なのかというところで、時短要請は感染急拡大の時に感染者数を抑えるということで非常に重要ですけど、結局、時短要請はいずれ解除しなければならない。
- ・解除する時期が来ると、飲食の形態が同じであれば、ワクチンが一定広がるまではまた同じことの繰り返しになる。
- ・感染に強い飲食の場づくりに力を入れなければならないという思いで、まん延防止等重点措置については、感染急拡大しているこの時期にぜひ取り組んでいきたいと思います。
- ・その中で、実地調査をするんですが、飲食店がもともと悪いわけではなく、このウイルスがたまたま唾液、口の中に多くいて、飛沫感染しやすいということなので、さきほどの支援策を実施するとともに、実地調査をする以上、アクリル板の設置、CO₂センサーの設置・換気の徹底、消毒液の設置という一定の基準を満たす店舗と満たさない店舗を明確に分けて、実施しない店舗が取り組むように増やしていく必要もあると思っています。
- ・しっかり取り組んでいる店舗を個別に認証していく制度づくりも同時にするべきではないかと思っています。
- ・山梨ではすでに取り組んでいますが、店舗数からして大都市では難しいと判断していました。
- ・本部会議でも、ビデオ電話でできないかと検討をしたのですが、今回、まん延防止等重点措置が適用になり、アクリル板の設置やCO₂センサーの設置、こういった感染対策に強いことをする補助制度を作って義務化できないかということで今進めているわけなので、これを機に個別の認証制度を大阪でも導入したいと思います。
- ・見回り調査のチェック項目を作り、今は感染対策を実施している店は自己申告制度になっていますけども、今回実地調査をしますので、対策を取れている店については、例えば、感染防止宣言ステッカーについてブルーのマークの認証制度ステッカーを発行しているわけですけど、例えば、認証された店舗についてはゴールドの宣言ステッカーというのを発行して個別に認証する。
- ・見回りをして、対策をとっている店ということができないかというのを少し検討してもらいたいと思います。
- ・ゴールドの感染防止宣言ステッカーが発行しているところは対策をとっているということの証明にもなります。
- ・これは、外からお客さんも見やすいということになります。
- ・併せて、インセンティブ制度を導入できないかということをご検討してもらいたいと思います。
- ・例えば、GO TO EATは当然できるような状況ではなくて、大阪でも実施するつもりではないですが、将来、ゴールドステッカーをつけて、感染症対策を徹底して実施している店舗については、何かプラスのインセンティブ制度を導入することでそのようなお店の方にお客さんを誘導する。
- ・お店にとってもプラスになるものを作っていくということをぜひ実行したいと思います。
- ・どのようなインセンティブにするのかというのは将来的な話にもなるので、今は感染を抑える時期ですからやりませんが、将来的なインセンティブをつけることを想定しながら、せっかく今回大阪市の全ての店舗を調査するわけなので、ゴールドステッカーの認証制度の発行という仕組みをぜひ検討してもらいたいと思います。
- ・スマートシティ戦略部で感染防止宣言ステッカーを発行していますけどできますか。

- ・これから実務的にいろいろ詰めてもらう必要があると思うんですけど。

【スマートシティ戦略部スマートシティ推進監】

- ・感染防止宣言ステッカーと大阪コロナ追跡システムをセットで店舗の方に発行するというのはできています。
- ・それを活用して、今はブルーのステッカーの制度になっていると思うんですけど、ゴールドステッカーを発行するっていうのは、一定のチェックをした上で、ふるいにかけて、取り組まれている店舗の方にはゴールドステッカーを出すというシステム構築は可能です。
- ・4月5日から、まん延防止等重点措置でチェックに行かれるということになってはいますが、そこでのチェックをどのようにシステムに落とし込んでくるか、危機管理室や政策企画部と相談させていただきたい。
- ・インセンティブについても、以前にそういうお話させていただきましたので、去年の秋、少人数キャンペーンの時に、システムを使って大阪コロナ追跡システムや感染防止宣言ステッカーが入っていることを条件に設計させていただきましたので、その辺についてもご相談させていただいて、作り上げていけたらと思っていますのでよろしくお願いします。

【知事】

- ・インセンティブ制度は将来的に実施するという前提で、今の段階では中身を詰めることはできないと思いますけど、それができる仕組みづくりは今の間に作り上げておくということをまずやりたい。
- ・そして、スマートシティ戦略部から話があった通り、システム上はこれができるということなので、4月5日以降、実際に実地調査に回ってくださる方が店舗ごとにチェックをするわけですから、スマートシティ戦略部と連携し、基準を満たすところは何か発行する。
- ・アクリル板をどのように設置しなければならないとか、時間はないんですけど、仕組みの構築を急いでもらいたいと思うので、危機管理監、よろしくお願いします。

【危機管理監】

- ・4月5日から走りながらではありますが、現地を確認できたら、今までの青ではなくゴールドを発行するというのは当然だと思いますので、検査結果をどのような形で確認し、スマートシティ戦略部と相談させていただきながら、システムに組み込むのか考えさせていただきたいと思います。

【知事】

- ・実地調査の見える化とインセンティブ制度を合わせた仕組みで感染症対策による感染に強い店を増やしていくということをやりたいと思うのでよろしくお願いします。
- ・大阪市内のお店には、今回、感染急拡大が市内でも残っているということなので20時までお願いすることになります。
- ・先ほど、菅総理の会見の中で、規模に応じた、売上げに応じた段階的なより実態に沿った支援金制度を構築するという話もありました。
- ・詳細は国において発表されると思いますけども、発表されれば大阪府も早く公表して、5日からの話で

すので、大阪市内の飲食店の皆さんに協力を仰いでいきたいと思ひます。

- ・20時以降、これまで飲食店からの声で一生懸命協力しているけれど、全く協力しないところもあり、そういったところにたくさんのお客さんが集まって、ある意味ぼろ儲けのような形になっていることは問題ではないかという御指摘も多くありました。
- ・今回、まん延防止等重点措置が適用されて、命令も出せるということになりますので、さきほどの見回り隊の中には、アクリル板の設置や、CO2センサーの設置とか、感染に強いお店の構築の見回りをするというにあわせて、20時以降にみんなが守っている中で守っていないところとしてどういうところがあるのか、そのような店舗の指導と確認、最終的には命令というところを当然頭に入れて、私も考えていきます。
- ・見回り隊の構成が非常に重要になってくるので、ぜひお願いしたいと思ひます。

【危機管理監】

- ・昼の方が非常に件数がありますが、夜の方はそれに比べると数が少ないので、そちらについても見回り隊でチェックさせていただきます。

※資料3-1に基づいて、健康医療部長より説明。

※資料3-2に基づいて、健康医療部長より説明。

【知事】

- ・今回、感染が拡大している要因に変異株というのも大きく作用していると思ひています。
- ・その中で医療体制を整えていく必要もあります。
- ・専門家の意見も踏まえながら、また、国の方針を踏まえながら、適切な対応をしていってもらいたいと思ひます。
- ・それから、今、若い方の感染が多いですけども、いわゆる川上のクラスターが多いわけですが、これから高齢者施設等の川下のクラスターに移ってくるということが予測をされます。
- ・その中で、高齢者施設で感染が広がると命に直結するということになります。
- ・高齢者施設の従業員について、全ての施設での全件検査ということは、4月以降もぜひ続けていってもらいたいと思ひます。
- ・よろしくお願ひいたします。

以上